

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本Ⅱ		合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</li> <li>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。</li> <li>・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。</li> <li>・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。</li> </ul>			
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人の生活の理解と支援</li> <li>・介護実践における連携</li> <li>・介護における安全の確保とリスクマネジメント</li> <li>・介護福祉士の安全</li> </ul>			
科目の細目名	授業時間数	講義内容		
介護を必要とする人の生活の理解と支援	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「その人らしさ」の理解               <ol style="list-style-type: none"> <li>①「その人らしさ」の大切さ</li> <li>②「その人らしさ」を支える介護サービス</li> <li>③「その人らしさ」の背景</li> <li>④変化する社会と生活様式</li> </ol> </li> <li>2. 高齢者の暮らしと支援の実際               <ol style="list-style-type: none"> <li>①これから迎える超高齢社会のなかでの介護観</li> <li>②老化の進行と介護予防という視点</li> <li>③高齢者の暮らしと個別的な生活支援</li> </ol> </li> <li>3. 障害のある人の暮らしと支援の実際               <ol style="list-style-type: none"> <li>①一人ひとりで異なる生活のあり方や支援課題</li> <li>②生活障害という視点のもち方</li> <li>③障害そのものへのアプローチでない、生活障害への対応</li> <li>④障害のある人の暮らしと個別的な生活支援</li> </ol> </li> <li>4. 介護を必要とする人の生活環境の理解               <ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者に合った生活の場</li> <li>②こころの健康を奪う生活環境</li> <li>③人的な生活環境の重要性</li> </ol> </li> </ol>		

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本Ⅱ	合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</li> <li>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。</li> <li>・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。</li> <li>・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。</li> </ul>		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人の生活の理解と支援</li> <li>・介護実践における連携</li> <li>・介護における安全の確保とリスクマネジメント</li> <li>・介護福祉士の安全</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
介護実践における連携	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多職種連携               <ol style="list-style-type: none"> <li>①多職種連携とは</li> <li>②チームを構成するメンバーの理解</li> </ol> </li> <li>2. 地域連携               <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域連携とは</li> <li>②地域連携にかかわる機関の理解</li> </ol> </li> </ol>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本Ⅱ	合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</li> <li>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。</li> <li>・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。</li> <li>・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。</li> </ul>		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人の生活の理解と支援</li> <li>・介護実践における連携</li> <li>・介護における安全の確保とリスクマネジメント</li> <li>・介護福祉士の安全</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
介護における安全の確保とリスクマネジメント	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事故防止と安全対策               <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護における安全の確保の重要性</li> <li>②リスクマネジメントの必要性</li> <li>③リスクマネジメントのしくみ</li> <li>④介護事故発生時の対応</li> <li>⑤介護事故の報告</li> <li>⑥介護事故の防止、安全対策の実際</li> </ol> </li> <li>2. 感染対策               <ol style="list-style-type: none"> <li>①生活の場での感染対策</li> <li>②感染対策の3原則</li> <li>③感染症発生時の対応</li> </ol> </li> </ol>	

# 介護職員実務者研修シラバス

事業所名 ワーキンエバー株式会社

科目名	介護の基本Ⅱ	合計時間数	24
到達目標 (授業の目的・ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。</li> <li>・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。</li> <li>・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。</li> <li>・介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。</li> </ul>		
教育に含むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護を必要とする人の生活の理解と支援</li> <li>・介護実践における連携</li> <li>・介護における安全の確保とリスクマネジメント</li> <li>・介護福祉士の安全</li> </ul>		
科目の細目名	授業時間数	講義内容	
介護福祉士の安全	6	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康管理の意義と目的               <ol style="list-style-type: none"> <li>①介護という仕事の特徴</li> <li>②介護職の健康と介護の質</li> </ol> </li> <li>2. 健康管理に必要な知識と技術               <ol style="list-style-type: none"> <li>①こころの健康管理</li> <li>②からだの健康管理</li> </ol> </li> <li>3. 安心して働ける環境づくり               <ol style="list-style-type: none"> <li>①労働環境の改善</li> <li>②労働安全の基本原則</li> </ol> </li> </ol>	
【使用テキスト】 中央法規出版「介護職員等実務者研修テキスト 第2巻」		【評価方法】 科目別小テストに対し、A=90点以上、B=80点以上、C=70点以上、D=69点以下の4段階にて評価し、C以上を合格とする。	